

Vol.4

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

状です。若いときと同じよ

うに齒が残っていて、「おいしくどんなものでも食べ

られる」「誰とでも楽しく話ができる」としたら、どんなにすばらしいことでしょう。

以前、歯周病は**歯槽膿漏**（しそうのうろう）といわれていました。歯槽膿漏という言葉から皆さんは何を想像されるでしょうか。「歯ぐきから血がでる」「歯ぐきから膿がでる」「歯

「菌ぐきから膿がでる」「菌がグラグラする」「口から嫌な臭いがする」等の症状

を連想し、治療方法として

も、「歯槽膿漏は治らない」「歯槽膿漏になったら歯を抜くしかない」と考えてい

る人が多いのが実情だと思います。

一歯を失う原因の半分は「歯周病だ」と御存知の方は非常に少ないと思います。

大部分は、虫歯で歯を抜く
と考えていないでしょうか。

りも多い割合で、歯周病によつて歯を抜くことが多いのです。

もし、歯周病を予防できるとしたら、あるいは歯周病を治療して治すことが出来るとしたら、年をとつても若い時のように自分の歯で物を噛み、話をする事ができるのです。ですから歯周病についてどんな病気か知ってもらいたいと思います。

【歯周病とはどんな病気？】

歯周病とは、歯そのものの病気でなく、歯を支える

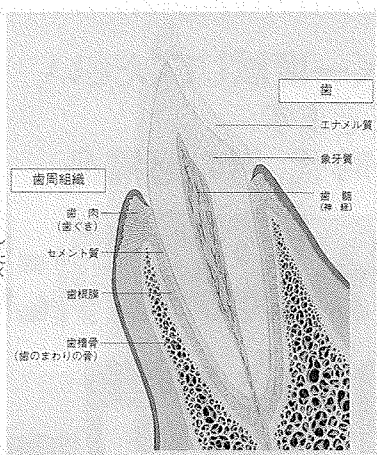
ている周囲の組織の病気なのです。これを家に例えますと、家そのものが壊れる

のが虫歯や歯の神経の病気であり、家を支える基礎と

なる土台の部分が壊れてしまふのが歯周病です。家の場合と同じように歯周病と

いう病氣は、あまり目立たなく、気づくのに非常に長い時間がかかります。さら

に進行すると、家そのものが崩れるように、歯そのものを支えきれなくなってしまう。



前歯の断面像

り、歯がグラ
、やがて抜け
になってしま
が歯周病なの
です。

歯周病は、最初に歯を支えている組織の歯肉に起きます。歯肉が赤く腫れている、歯肉から血が出る。こ

齒は、齒ぐき（齒肉）、
骨（齒槽骨）、骨と結びつ

ける弾力のある繊維（齒根膜）、根の表面をおおっている（セメント質）の四つ

の組織で支えられています。
歯には目で見えている部分
よりもっと長い根が骨の中

に埋まっております、その上を
歯肉が覆っています。そし

て、歯と骨の間に歯根膜が
あって、これが硬いものを
咬んだ時にクッションの役

目をします。これらの部分
が病気になり、壊れてしま
うと、物を咬む時の力に耐

えられなくなり、歯がグラグラしてきて、やがて抜けしてしまうことになってしまいます。これが歯周病なのです。

歯槽骨
(歯のまわりの骨)

前歯の断面像

歯周病は、
最初に歯を
支えている
組織の歯肉
に起きます。
歯肉が赤く
腫れている、
歯肉から血
が出る。こ

れらの症状が見られたら、
歯肉に炎症が起きており、

です。

歯周病が始まっているので、やがて炎症が進行し歯根膜や骨を破壊し膿が出る

ようになり、グラグラしてきます。このような変化に気がついたら、すぐに治療

を受けることが重要になります。早期であれば、治療

によつて、もとの健康な歯ぐきを取り戻すことが可能です。よくお口の中を観察

することが大切です。
次回も歯周病についてお
伝えします。